

2024年7月20日(土)

ツバメの ねぐら入り観察会



今年巣立った幼鳥や、繁殖を終えたツバメたちは夕方になると「ねぐら」に集まりはじめ、群れになって夜を過ごします。公園のヨシ原は“ツバメのねぐら”として大切な場所となっているため皆さんにも知ってもらいたく観察会を企画しました。

今年はツバメの飛来数がとても少なく7/13(土)から延期しての開催。しかし、1週間経っても飛来数は増えず「スズメのねぐら入り観察会」となりました。

それでも今日こそは奇跡的にツバメが多く飛来することを期待して基礎知識を学んだ後、まだ、明るいヨシ原へと出かけました。



ツバメの帰入りより少し早くスズメが集まり始めていました。



スズメのねぐら入り



「セミの羽化」「満月」も観察できました。



残念ながらツバメによる「夕暮れのバードショー」とはいきませんでした。ヨシ原は人間にとって“生産性がない”とされ埋め立てられたり農地に変えられたり開発の対象になりますがツバメやスズメの貴重な「ねぐら」なのです。「生き物との共存」を考える良い教材ではないでしょうか？ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

